

高梁市議会だより

第58号
2024年5月

令和6年度新年度予算 わたしあうまち高梁市の 新年度予算を審査



地域から学校が消える!?
教育委員会が市内13会場で意見聴取会

高梁市議会だより

2024
5

「意見はこちらまで」■高梁市議会事務局 高梁市松原通2043 ☎0866-21-0277

発行 高梁市議会

6月の定例会スケジュール

5/29	水	本会議（議案の上げ）
6/4	火	本会議（一般質問）
5	水	本会議（一般質問）
6	木	本会議（一般質問）
10	月	本会議（議案質疑）
11	火	委員会
12	水	委員会
13	木	委員会
18	火	本会議（採決）

※6月定例会への請願・陳情の締め切りは5月23日（木）までです。

※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

**政治家の寄付は禁止！
有権者が求めることも
禁止されています！**

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



編集

委員長	森 和之
副委員長	金尾 恭士
委員	石部 誠
委員	石井 聡美
委員	森上 昌生
委員	伊藤 泰樹
委員	新倉 淳
委員	平松 久幸

平田篤胤は出羽国久保田藩（現在の秋田県）大和家の四男として生まれました。20歳の時に江戸へ出奔し、当時最新の学問であった西洋医学、地理学、天文学と多岐にわたる学を深めました。25歳（1800年）の時に備中松山藩士で山鹿流兵学者であった平田藤兵衛篤穂の養子となり、国学に関心を寄せることになりました。国学を大成し死去している本居宣長に、夢の中で入門を許されたと言ったのは有名な逸話です。

篤胤は、宣長の国学に独自の解釈を加え「真菅乃屋」を号して自立します。その後「気吹舎」と改め、約600人の門人を集めました。篤胤の学問的な興味はさらに広がってゆき、怪異談や幽界研究にまで及んでいます。その後、学問に専心したいと藩主板倉氏に暇乞いを願い、許されましたが、後年、暦学や易学に傾倒し幕府の暦制を批判したことで、国許（久保田藩）帰還を命じられることとなりました。

篤胤の大成した復古神道は後に尊王攘夷運動の支えとなり、さらには戦前の皇国史観にも影響を与えたと言われています。

「平田篤胤肖像」（渡辺 重石丸）早稲田大学図書館（Waseda University Library）「Hirata Atsutane」 is licensed underCC BY 2.0

新 高梁人名録



ひらた あつたね
平田 篤胤
(1776年～1843年)

▲自画像

▲霊能真柱

今号の表紙

高梁市立落合幼稚園

令和6年3月31日をもって閉園する高梁市立落合幼稚園お別れの式が、3月25日に行われました。また、69年間、落合地域の教育と保育を担った施設の閉園に感謝を込めて3月9日と10日には落合幼稚園お別れ見学会が



お別れの式の様子

行われました。閉園を惜しむ卒業生や地域の人々など多くの方が訪れていました。

あとかき
議会の大切な仕事に「賛否を決する事」がある。議員は自分の意見を述べ他議員の話に耳を傾ける。先日、議会議事委員会でも、その場面に遭遇した。結論は「やるか、やらないか」の二種類しかないが、それぞれの議員の主張は少しずつ違う。議論の途中で議員の主張に変化が見て取れる場面もある。手を挙げるかあげないかを決めるために、しっかりと議論を深めていくことが民主主義の基本だと感じられる場面である。お届けした「市議会だより」でそういった臨場感まで伝えることができただろうか。（石部 誠）





令和6年3月4日から25日までの22日間、令和6年第1回高梁市議会定例会を開催、市長から提出された議案は令和6年度当初予算を含めた53件です。議案53件のうち1件を承認とし、残り52件を原案のとおり可決し、併せて追加提出された議案2件のうち補正予算1件を原案のとおり可決し、残りの人事案件の議案1件を適任としました。また、議員発議の議案1件を、原案のとおり可決しました。

わたしあうまち高梁市の 新年度予算を審査 3月定例会

この事業に注目しています！

災害対策事業 約2400万円

近年大規模災害が多発している現状の中において、予算を拡大し減災に期待。

シティプロモーション推進事業 約1400万円

高梁市のブランドイメージと認知度を高め、交流・関係人口の拡大や移住定住の促進に期待。

必要な事業でも常に見直しを 【総務文教委員会】



建設中の
高梁認定こども園（仮称）



総務文教委員会では議案10件を審査しました。
「令和6年度高梁市一般会計予算」について、大型建設事業の完成予定、消防団の報酬や活動費の内訳、森林環境税の徴収の仕組み、DXの取り組み、魅力ある大学づくり、公共施設等総合管理計画の改定、人材育成の取り組み、県立高校魅力化の取り組み、各種施設

設の管理状況、学校園適正配置の取り組みなどについて質疑を行いました。
委員からは、大型事業について必要な事業であつても常に見直しを望む声がありました。指定管理や業務委託についての情報開示が不十分であるとの反対討論がありました。賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しました。

この事業に注目しています！

木質バイオマス安定供給支援事業 約1600万円

高梁グリーンパークのバイオマス発電所活用により、地球温暖化対策に向けた取り組みに期待。

特定業種出店（ベビー関連店舗等）支援事業 約300万円

子どもの利益を第一と考える「こどもまんなか社会」の実現に向けた取り組みに期待。

産業経済委員会では議案21件を審査しました。
「高梁市営定住促進住宅条例の一部を改正する条例」では、オーダーメイド住宅の建設を川上町に選定した理由、家賃の根拠、坪単価、今後の計画などについて質疑が行われ、「令和6年度高梁市一般会計予算」では木質バイオマス安定供

給事業補助金、地域商業活性化事業補助金、ようこそ高梁出店支援補助金の事業内容、広瀬避難所の建設計画などについて詳細な質疑が行われました。「令和6年度高梁市水道事業特別会計予算」では子育て世帯から高いと感じられる水道料金について質疑があり、移住定住にもつながるものもある、有収率の改善や簡易水道を含めた水道事業の運営には緊張感を持つて当たっていただきたいという意見が示されました。全ての議案について、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

※有収率…給水する水量と料金として収入のあった水量との比率。
(水道管の老朽化による漏水が多い場合、有収率は低くなる。)

高梁グリーンパークの
木質バイオマス発電施設



有収率の改善が必要 緊張感のある事業経営を 【産業経済委員会】

この事業に注目しています！

ふるさと回帰同窓会開催助成事業 約100万円

ふるさと納税の増額やUターンの流れを作り出すことに期待。

シャルム地域おこし協力隊配置事業 約2600万円

吉備国際大学シャルム岡山高梁の選手、コーチを地域おこし協力隊として配置、農業支援、コミュニティ支援など地域課題の解決に期待。

子育て支援の取り組みを質疑 【市民生活委員会】

市民生活委員会に付託された案件は、議案28件です。
「令和6年度高梁市一般会計予算」の審査におきましては、地域振興交付金および地域振興助成事業補助金を活用した今後の地域振興の在り方、子ども計画や医療計画の策定に係る業務委託の内容、子育て支援のための取り組み、また

新規事業として取り組むシャルム地域おこし協力隊配置事業など詳細にわたり質疑を行いました。
その他の議案につきましては、慎重に審査を行い、議案第1号については承認すべきもの、その他の議案については原案のとおり可決すべきものと決しました。

地域から学校が消える!?

教育委員会が市内 13 会場で意見聴取会



高梁市立学校園適正配置検討委員会

教育委員会において、学校園の適正配置を検討するため、「高梁市立学校園適正配置検討委員会」を設置し、令和5年9月1日、教育関係の学識経験者3名と議員1名、保護者の代表7名、地域からの代表6名の計17名が委員に委嘱されました。

平成30年に「学校再編推進審議会」の答申が出されてから5年しか経過していないにもかかわらず、検討委員会が設置されたのは、少子化が予想以上のペースで進化したからです。

検討委員会では、5年から10年先を見据えて、前回の答申「教育環境を確保するための小中学校再編の基本的な考え方」を基本に、高梁市の子どもたちにとって最適な教育は何かということ、を最優先に議論し、協議を重ね、令和5年12月25日に教育長へ報告書を提出しました。

教育委員会では、検討委員会

からの報告書について、1月11日から2月1日の間、市内13カ所において意見聴取会を開催し、説明するとともに、意見の収集を行いました。議員も可能な限り意見聴取会に同席し、参加者の意見、発言を傾聴しました。

議会においては、令和6年2月16日の議会全員協議会で、改めて学校再編検討の経緯から、検討委員会による学校再編基準、通学条件や新基準に基づく適正配置計画（案）が示され、また意見聴取会で寄せられた意見について説明を受け、質疑を行いました。

今後、意見聴取会で寄せられた意見一つ一つが精査され、計画に反映されます。そうして練り直されたものが、再び質疑されることとなります。議会としても、地域の声に耳を傾けながら、持続可能な教育環境の構築に尽力していきます。

討 論

反対討論

石部 誠 議員

新年度予算は大型公共事業の見直しはされず、一部企業や団体などへの事業委託が優先的に予算組みされ、市民サービスの低下が見られる。

学校統廃合や学校給食センター、学童保育の民間委託などが予定されているが、教育に係ることは直営で行うべき。職員の人員不足等での民間委託は、委託先で働く方が低賃金に追い込まれ地域経済も低迷させる。

吉備国際大学への1億円の支援は、学生数がピーク時から3分の1の1100人程度。市と大学の協力は必要であるが、市民や地域支援からみて特別扱いされている。シャルムのコーチや選手が地域おこし協力隊として5人配置されるなど、移住定住施策として市外からの移住支援は多々あるが、地域に残り支えている方々の応援が必要ではないか。



また国保財政では基金の約7億円を、高すぎる国保税の引き下げに使うべき。吉備国際大学留学生の毎年数百万円の不納欠損が他の国保加入者に乗せられている問題は解決されていない。

また今定例会の一般質問で、同様の質問を行った2人の議員に対して執行部が違う回答を行った。若い職員が多数退職する状況を鑑みても執行部の行革が必要と考え、2議案に反対する。

賛成討論

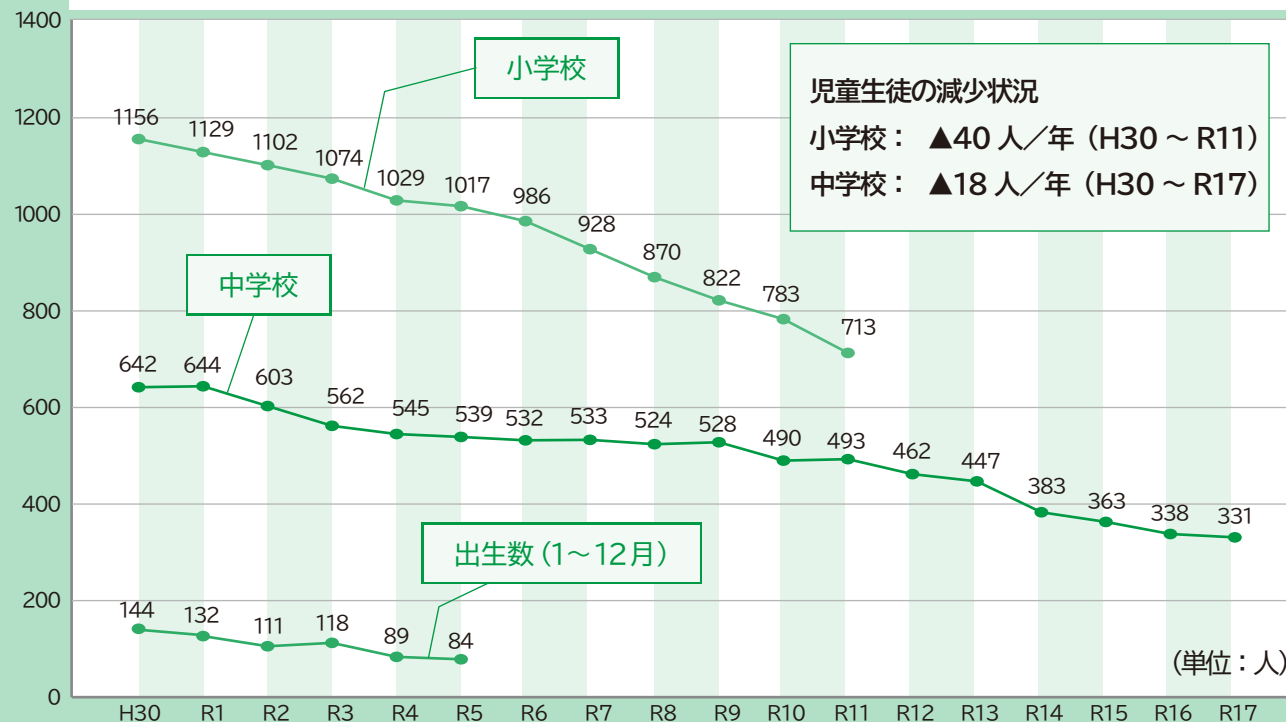
森 和之 議員

提案された全ての議案に賛成の立場から討論する。

一般会計予算については来年度も財政が厳しい中、多方面にわたっての予算配分に努められたことは評価に値する。この予算には地域おこし協力隊に関する予算が含まれている。国の特別交付税を活用し、人口減少対策に向けた取り組みとして一定の理解を示すが、地域おこし協力隊の本来の活動としては、かけ離れたものではないかと疑問を感じる。地域おこし協力隊として、結果を残せるように予算執行には努めていただきたいことを申し添える。

今後も大型公共事業が続くが、行財政改革をより一層スピード感をもって進めていくことを強く求め賛成する。

児童生徒数の現状（H30年以降の状況）



3月定例会で賛否が分かれた議案の採決結果

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席

件 名	金尾	新倉	平松	伊藤	森上	森	石井	三村	石部	宮田好	小林	川上修	倉野	川上博	宮田公	大月
議案第39号 令和6年度高梁市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号 令和6年度高梁市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○

※議長は採決には加わりません。 ※他の議案は全会一致で可決しました。



議会 ニュース



落合雨水ポンプ場と
吹屋簡易水道浄水場を
視察しました

産業経済委員会では1月30日、高梁市落合雨水ポンプ場と高梁市吹屋簡易水道浄水場の視察を行いました。

落合町阿部地区は、高梁川計画高水位より地盤が低く、高梁川の水位が上昇した際、地区内に降った雨水を自然排水



落合雨水ポンプ場



吹屋簡易水道浄水場

できない状況にあります。現在、平成30年豪雨相当の降雨時に対応可能なポンプ場を整備しており、進捗状況を視察しました。完成は令和8年3月末の予定です。

また、昨年11月には吹屋の水道水から国の基準を上回る塩素酸が検出され、季節によってはカビ臭がすると住民からの声を受けて今回、現地で施設

を視察し対応について説明を受けました。

伊豆の国市と伊豆市へ
視察に行きました

2月5日、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の舞台となった静岡県伊豆の国市で研修視察を行いました。視察内容は、大河ドラマに係る観光施策についてです。放送前、放送中、放送後に行った関連事業と観光施策につなげる取り組みを研修してきました。

翌日には、伊豆市で有害鳥獣対策について研修視察を行いました。伊豆市は公設公営の



イズシカ問屋

食肉加工センター「イズシカ問屋」を設立して、年間900頭のシカを食肉として販売することで新たな特産品を生み出し狩猟者の負担軽減と捕獲意欲の増進につなげており、有害鳥獣被害減少に成果を上げていました。運営の収支は赤字ではありましたが有害鳥獣対策としては非常に有効だと感じました。



伊豆の国市での研修

お詫びと訂正
議会だより第57号13ページ4段目の市長答弁で、「1月中旬に『納付書』を配布」としておりましたが、正しくは「1月中旬に『確認書』を配布」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

2月14日に
議員研修会を開催しました

2月14日に議場で議員研修会を開催し、講師に高梁市地域おこし協力隊の宮崎知也氏を迎えて、「高梁市の医療・介護の現状とこれから」と題した講演を受けました。

高梁市では介護事業所職員（880人）の年齢構成が50代以上の職員（521人）59%と非常に高く、50代以下の介護職員が少ないことから10年、20年後には介護崩壊の可能性があり、市独自の対策が急務であると指摘されました。

医療・介護・福祉分野において、業務プロセスのデジタル化を進め、市内事業所ではIT



議員研修会

2月16日に全員協議会を
開催しました

執行部から次の3点について説明を受け、質疑応答を行いました。

市行財政改革プランについて

人口減少及び少子高齢化により財源不足が如実に表れてくる。「子や孫の世代まで適切な行政サービスを提供するために」行財政改革を行うが、市民サービスを疎かにせず、市民への「説明責任」をしっかりと行う。

災害復旧事業に係る
不適切な事務処理に関する
再発防止策について

市の不適切な事務処理が再び明らかになり、市長は「これは公務員としての法令順守や組織のチェック体制が機能しなかった。市を代表してお詫びする」とした。全庁的な事務執行の在り方、具体的な再発防止策の取り組みを進める。

高梁市における学校の
適正配置について

学校・地域ごとの児童生徒数の推計を基に、市が目指す教育の実現のために、また学校規模や通学条件等の観点から子どもにとってより望ましい教育環境の整備等を具体的に進めていきたい。

川上地域で議会報告会を
開催しました

2月16日に、川上総合学習センターで、議会報告会を開



川上地域での議会報告会



高梁市議会 Youtube チャンネルで、過去の一般質問を見ることができます。

配信中!

高梁市議会
YouTube 公式チャンネル

一般質問 **ここ**を聞きました！

- 宮田公人【代表質問】**

 - ✓ふるさと納税を活用した農業振興施策について
 - ✓市立学校園、高等学校の適正配置の在り方について
 - ✓市民のホテルとしての高粱国際ホテルの在り方について
- 石井聡美**

 - ✓介護報酬について
 - ✓防災について
 - ✓空き家について
- 森上昌生**

 - ✓環境施策と動物愛護について
 - ✓人口動態について
- 金尾恭士**

 - ✓令和6年度予算について
 - ✓大規模地震への防災対策について
 - ✓教育について
 - ✓人口減少対策について
 - ✓災害復旧事業に係る不適切な事務処理に関する再発防止策について
- 森 和之**

 - ✓高粱川水系中上流ブロック河川整備計画について
 - ✓防犯灯整備について
 - ✓高粱市立学校園適正配置について
 - ✓愛護動物について
- 川上博司**

 - ✓がん患者に対するアビアランス（外見）サポートについて
 - ✓認知症を発症しても安心して暮らせる社会づくりについて

- 伊藤泰樹**

 - ✓少子化対策について
 - ✓交通安全について
 - ✓学校給食について
- 平松久幸**

 - ✓能登半島地震における被災者支援について
 - ✓高粱認定こども園（仮称）について
 - ✓高粱国際ホテルについて
- 石部 誠**

 - ✓公共工事入札の談合疑惑について
 - ✓行財政改革について
 - ✓学校の統廃合について
 - ✓学校給食について
 - ✓学童保育について
- 新倉 淳**

 - ✓「備中高梁伝えたいし！」について
 - ✓子育て支援について
 - ✓農業者に対する支援策について
 - ✓防災力について
- 小林重樹**

 - ✓令和6年度当初予算の主要施策について
- 川上修一**

 - ✓基幹産業である農業について
- 倉野嗣雄**

 - ✓森林環境譲与税の活用について
 - ✓移住・定住について
 - ✓行財政改革について

近藤市長の4期15年を問う！

かけはし 代表質問

宮田 公人 議員



ふるさと納税を活用した農業振興施策について

宮田 吉備中央町では、町の知名度アップ、生産米のPR、稲作農家の支援について、収支改善と元氣創出を目的として、ふるさと納税を活用し米の買取り価格の安定化、農業機械更新の補助、圃場の改善、有害鳥獣対策などに活用し成果を上げている。こうした取り組みの高梁市での実現可能性について、市長の考えを問う。

市長 同じJA組織でもあり、農業振興、農地保全の観点からも一考させていただきたい。

市立学校園、高等学校の適正配置の在り方について

宮田 適正配置を進めていくなかで、教育長の目指す今後の高梁市の教育の在り方を問う。

市民のホテルとしての高粱国際ホテルの在り方について

宮田 施設改修を優先的に考えることと行政財産とし指定管理とすることが現実的に思えるが市長の考えを問う。

市長 運営方法は研究中だが市民の皆さんと何らかの関わりを持つていただく方法を考えたい。



改選後 議会の体制が変わります

議員定数が16人になり、委員会は2つに

3月定例会では、「高粱市議会委員会条例の一部を改正する条例」が委員会提案の乙議案として提出され、可決されました。

この条例は令和6年10月以降の常任委員会数を3から2に変更するものです。

9月に予定されている市議会議員選挙から、議員定数が16人となることが決まっています。議員数が減る中、委員会が多様な論議を行うためには、ある程度の委員数を確保する必要があります。

これまで「議会のあり方検討特別委員会」で3委員会兼任制など様々な委員会のあり方を議論してきました。その結果、常任委員会を3委員会から2委員会に変更すれば、委員定数は従来の6人から改選後は8人と増え、より充実した審査が期待できるという結論に達し、特別委員会からの提案で、議案として提出されました。新しい委員会は、以下のとおりの役割分担になります。

新しい委員会構成	
〈 市民文教委員会 〉 市民生活部、健康福祉部、社会福祉事務所、子ども家庭センター、国民健康保険成羽病院、選挙管理委員会及び教育委員会の所管に属する事項	〈 総務産業委員会 〉 総務部、産業経済部、土木部、会計課、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項、消防に関する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項

本市の取り組みは他自治体議会からも注目されています

本市では他自治体議会からの行政視察を受け入れています。施策の説明については担当課をお願いしています。議長も可能な限り同席し質疑に対応させていただいています。視察件数は、コロナ禍前は年間30件前後でしたが、令和4年度は15件、令和5年度は19件とコロナ禍

前に戻りつつあります。中でも視察要望が多いのが、後に紹介している5つです。

総合計画の中でも重要事項として取り組まれており、議会での議論が活発に行われるテーマについては他自治体議会からの注目度が高いのも分かります。

- 1 子育て支援（ベビーファースト運動、高粱版ネウボラ、保育士確保等）
- 2 移住定住促進施策（空き家バンク制度、移住コンシェルジュ等）
- 3 高粱市図書館を核とする複合施設（整備の経過や活用）
- 4 西日本豪雨災害からの復旧復興及び防災対策
- 5 歴史や文化に関する施策（山田方谷の顕彰、備中松山城や旧吹屋小学校の保存活用等）

▶和歌山県海南市議会様の行政視察受け入れ。視察テーマ「平成30年7月豪雨 高粱市の状況と復興への取り組み」



介護報酬引き下げを 国と県に訴えるべき



訪問介護報酬の是正を

石井 聡美 議員



石井 令和6年度の介護報酬改定において、訪問介護事業関連の報酬が引き下げられた。都市部の訪問介護事業者の収益率が高いことが理由だが、中山間地域などでは1日に訪問できる件数が限られており、経営が厳しくなる。国と県に対して是正を申し入れていくべきではないか。

市長 大事な問題だと思っている。高梁市のホームヘルパー協議会の会員さんは減り、平均年齢も高い。この1年が勝負だと思っている。国や県へ声を上げていかなくてはならない。



法改正を契機に
積極的な空き家対策を

石井 空き家対策特別措置法が改正され、まだ住める状態の空き家が勧告の対象となる。また相続登記が義務化される。市庁舎内にフレストップの相談窓口を作るべきではないか。

政策監 令和6年度から国の補助事業を活用して、住もうよ高梁推進課に総合的な相談窓口を設ける予定としている。

石井 アンケートを取ることで空き家について考える契機となるのではないか。

政策監 官民連携による体制を構築して、積極的に所有者に働きかけていきたい。

災害対策に わが事として対応すべき！



大規模地震への
防災対策について

金尾 恭士 議員



金尾 長者ヶ原―芳井断層が広島県福山市から高梁市川上町付近まで延びている。岡山県ホームページでは川上地域は震度5強との予測を公表している。広島県と福山市・井原市等との広域的な防災会議の設置、情報交換等が必要ではないか。

政策監 防災マップには南海トラフ地震のみ記載しているが、対応としては活断層による地震も包含されている。今後は併記して両方の防災対応を図っていく。岡山県と広島県の情報共有は必要だが、協議会は考えていない。

金尾 川上地域は備後圏域との関係性が深い。「わが事」として積極的に考えていただきたい。



学校園適正配置計画について

教育長 市の公共交通会議で全体的な計画が令和6年度から議論されることをふまえ、令和6年度中には検討していく。

金尾 公共交通の問題・ドライバー不足も深刻な状況。慎重に検討していただきたい。



災害復旧事業に係る
不適切な事務処理に
関する再発防止策について

金尾 再発防止策が示された。短期、中長期として具体的な進行管理スケジュールが必要ではないか。

総務部長 スケジュール感はある。すでにでもやるべきことはすでに実施している。相談しやすい職場環境を作るなどについては長い目でしっかりと見ていく必要がある。

環境施策と動物愛護について



野良猫対策について問う

森上 昌生 議員



森上 今、地域猫活動を進めるといような話をされたが、地域猫活動をするためにもTNRというのは必要だ。TNRをせずに地域猫活動はできない。それをするために、飼い主のいない野良猫に対し、誰が責任を持つてするのか。

市民生活部長 飼い主のいない猫について先ほども申しましたようにTNR活動が有効であるということ。それから県の施策でありますし、「近所のこと考えます」と、やはりそれだけよりもさらに進んだ、地域猫活動というのを行政とすればお勧めするということにはなつてこようと思います。それを誰がやるのかというようなご質問



不妊去勢処置をした印として耳先をカット

だったと思いますが、これは現在の進め方でやりますと飼い主のいない猫がいる地域の方が、どのように対応するかというお考えのもとで検討をしていただく、というような考え方でございます。以上です。

森上 要するに、野良猫のいる地域の人間が「責任を持つて自分達でしろ」ということですね。

猫城主を生がした 動物愛護とまちづくりを



動物愛護について

森 和之 議員



森 鳥獣被害に悩む本市の実情を理解した上で質問するが、野良猫問題を解決するために市としての取り組みを示す時ではないか。

市長 野良猫問題に税を投入するのがどうかという議論があるが、環境を守るといふ大きな観点の中で、一つの手法としてふると納税を使用することも考えられる。この問題については住民の意識を高める、飼い主のいない猫をどうするのか、二つの論点でこれをまとめていかないとけない。

森 愛護動物と安心して「健康」に暮らせるまちづくりにも必要ではないか。

市長 愛護動物を通じて大勢の人が交流できるまちづくりは必要だと考えている。



高梁市立
学校園適正配置について

森 再編を受け入れる小学校、中学校の取り組みについて問う。

教育長 再編前には児童生徒同士の交流を行う。授業改善、生徒指導などの強化、「コミュニティ・スクールを通じて地域との連携を強め、開かれた学校をつくり上げていく。



防犯灯整備について

森 防犯灯設置事業が新年度予算に計上されているが、要望がある通学路をカバーできるのか。

市長 通学路の防犯灯には国交省の補助制度がある。通学路については防犯、安全のためにも設置を考えていく。

森 高梁市の夜は非常に暗い、ウォーキングやジョギングを楽しむ人のためにも防犯灯の増設を強く望む。

がん患者に対する 外見ケア補整具購入費を 補助すべきではないか

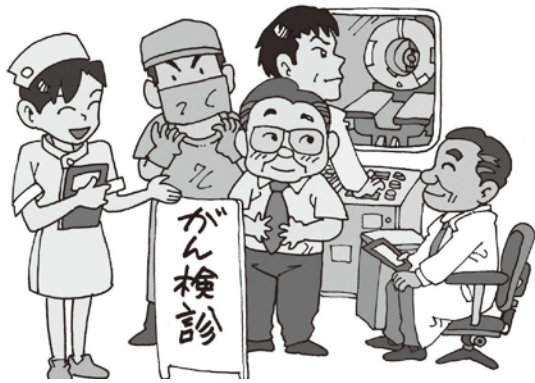
川上 博司 議員



がん患者に対する
経済的なサポートを

川上 がん患者に対するアピラ
ンス（外見）サポート事業は、脱
毛や乳房切除など、がん治療によ
る外見の変化に悩む患者に対し、
補整具の購入費用を一部助成する
という事業である。岡山県下では
岡山市、総社市、美作市、笠岡市、
美咲町が、アピランスサポート
事業としてウィッグ購入費用の一
部の助成をしている。本市でも早
急に実施すべきではないか。
健康福祉部長 がん患者の方々は
補整具を装着することで心理的負
担の軽減につながるが、補整具は
10万円以上と高額なものもあり、
経済的負担が大きいと承知してい
る。人工乳房、補整下着、脱毛に

対応した医療用ウィッグ（かつら）
の購入費の助成について、9月定
例会での予算化に向けて準備す
る。



理屈は無しに センターラインを引き直して

伊藤 泰樹 議員



少子化対策について

伊藤 地域社会の崩壊を招かない
ためにもっと力を入れて頑張っ
ていただきたい。

市長 人口減少問題の戦略本部を
立ち上げた。若い人の発想や、
母親クラブの皆さんなど多くの意
見を吸い上げながら進めていく。



交通安全について

伊藤 国道180号段町交差点を
どう認識されているのか。

市民生活部長 悲惨な事故を未然
に防ぐためには、事故の発生要因
も検証した上で、県など関係機関
と連携した交通安全対策が必要と
考えている。

伊藤 山間部の道路において、セ
ンターラインの引き直しが必要で

伊藤 学校給食センターの再編に
当たつての施設整備の必要性があ
るのか。
教育長 納入業者も減る中、麺や
パン等に何らかの支障があった
時、現状のままでは急な対応がで
きないため施設整備は必要であ
る。



学校給食について

はないか。

産業経済部長 予算確保、事業調
整に努めながら対応していく。

間に合うのか!? 高梁認定こども園（仮称）

平松 久幸 議員



高梁認定こども園（仮称）
の工期について

平松 高梁認定こども園（仮称）
の工事は、複雑な工事内容、材
料調達が困難な状況であるが、工
事は、令和7年2月末日に完成で
きるのか。

教育次長 工期については非常に
厳しい状態だと思っている。現時
点では工期の延長は予定してい
ない。ただ、契約時には想定をして
いない大規模な災害等も起きてお
り、今後資材の調達や労働力の確
保等の状況により、工事の延期は
避けられない場合があると認識し
ている。

平松 複雑な設計でもあり工期を
考えると発注が遅かったのでは。

市長 設計の遅れはあった。その
後、12月に工事入札があったのだ
が、大きく変わってきたのは能登

平松 半島地震だ。これから先、この
工事もどんな資材が必要になっ
てくる時期だが、能登半島へ資材
が向けられるのは必然だと思っ
ている。また大阪万博も控えている。
全国の資材、人手も、そちらのほ
うに向けられるというのは容易に
想像ができる。
平松 完成が延びた場合は市民へ
の影響はどうか。
教育次長 認定こども園は、来年
4月から開園することとしてい
る。現在2つの施設で今までと同
じように教育・保育を実施しな
がら、施設をそのまま使用するとい
うことを余儀なくされるのではな
いかと考えている。少しでも早く
新しい施設での開園をできるよう
に対応していく。

談合は犯罪です 「みんな見てますよ」監視で抑止を

石部 誠 議員



学校・給食センター
学童保育の統廃合と
民間委託はいかがなものか

石部 学校の統廃合の地域説明会
は今後も行うのか。

教育長 説明会は地域等の要請が
あれば行う。

石部 学校給食センターの統廃合
と民間委託の「安心・安全な食事
の提供や食育との整合性」につ
いて説明を求める。

教育長 令和6年度以降、具体化
に向け研究をする。子どもの教育
だけでなく地産地消や地域経済の
活性化等にも影響するが、民間委
託になっても十分行える。

石部 学童保育の市直営からの民
間委託と、運営委員会とのサービ
スの均一化と今後について

健康福祉部長 民間委託は令和7



入札談合について

石部 年1月から開始したい。学童保育
の課題である支援員の確保が民間
委託で有利になる。運営委員会に
よる学童保育も、民間委託への移
行要望があれば相談に応じる。

石部 京都大学経済学研究科教授
（公正取引委員会競争政策セン
ター主任研究官）から「高梁市で
は談合が行われている可能性が高
い」との連絡があったが市の受け
止めは。また第三者による契約適
正化委員会を設置しては。

副市長 市は談合が行われないよ
うな制度設計、その改善に努めて
いる。関係職員は公共工事等発注
者倫理規程や談合情報対応マニ
ュアルにより公平公正な入札が行わ
れるよう執行している。現時点で
外部委員会を設ける考えは持ち合
わせていない。

農業者に対しての 重要性の再認識を



市民ホールに
石村嘉成ギャラリーを

新倉 石村嘉成さんが「備中たかはし伝たいしー」を受けてくださった「厚意」に応えるためにも、来庁される皆さんの癒しの場として市民ホールの一角を石村嘉成ミニギャラリーにしたら素晴らしいと思うが、市長の考えを問う。

市長 良いご提案をいただいたと思う。市民ホールを大勢の方にご利用いただき、いろんな話に花が咲けばと思う。現在はこの前、頂いた「高梁川の大合戦」という作品を展示している。今後、石村さんとの話し合いになるが進めていきたい。また石村さんの活動を紹介する写真パネルなども展示できればとも考えている。



農業従事者に
もつと手厚い施策を

新倉 基幹産業である農業の屋台骨でもある認定農業者、そして農業後継者などの組織に対しての補助を考え直してもらいたいのだが、市長の考えを問う。

市長 まずは認定農業者協議会の中でも活動に対して議論をして頂きたい。その上での支援を考えていきたい。高梁市の農業を守っていただいている認定農業者の皆様方の活動もこれからは必要であるとの認識は変わっていないので、その都度ご相談なり協議なりさせて頂ければと思っている。

新倉 補助金ありきではなく、自主的活動に行政のバックアップが必要と考えている。農業者に寄り添う行政を希望する。



新倉 淳 議員

中山間の農業の在り方を問う



基幹産業である
農業について

川上 食料安全保障を視野に25年ぶりに食料・農業・農村基本法の一部を改正する法案が提出され、閣議決定のち予算委員会においても議論がされている。米価に対する考え方、荒廃が進む農地について、市は今後どのような対策をしていくのか。

市長 25年ぶりに基本法が改正されるということで、食料自給率についても農地の確保は大きな課題だと考えている。市としても集団的な農業を求めるため農業機械の共同化とそれに対する補助等も行って、農地の確保と維持に努めていきたい。またジャポニカ米というのは海外でも人気を博してきている。この流れは敏感に捉える必要



農地の相続について

川上 相続登記について法改正がなされ令和6年4月1日から実施される。特に農地の相続については複雑で、農業委員会または中間管理機構を通さなければならず、非常に手間と時間がかかる。市の窓口において丁寧な指導を求める。

市長 相続登記の法改正については農地に対しての手続きが複雑なので適確な説明指導に努める。



川上 修一 議員

高梁の子育て支援体制を問う



子育て支援対策に
向けた取り組みについて

小林 子育て支援パッケージ支援プロジェクトとは切れ目のない支援だと思うがその内容を問う。

市長 第3子以降の支援パッケージとして既存の子育て支援に加え、充実させていく。国の支援措置も含め、拡充していく事業として、妊娠出産のときに15万円を20万円に上げていく。また小学校、中学校への入学時に5万円の支給、季節性インフルエンザの予防接種費用も原則無償化などを含めた子育て支援パッケージである。

小林 第1子、第2子の子育て支援は今までどおりなのか。

市長 第1子、第2子に対する支援内容も拡充していきたい。新年



高梁認定こども園（仮称）
施設の運営について

小林 子育て支援の中核となる施設としての機能を問う。

市長 こども園の機能に加えて子育て支援センターを併設する。センターが親子や親同士の交流、こども園に通っていない子どもさんも含めた交流の場となり、育児についての悩みも相談ができる場になればと考えている。



小林 重樹 議員

森林環境譲与税について



森林の整備計画
について

倉野 令和6年度より、国税として1人年額1000円を市町村が賦課徴収する森林環境税がスタートする。今後の計画と公表の義務がある使途について問う。

産業経済部長 令和5年度末までに「森林経営制度」に係る意向調査を終えたところが7エリア、現地調査を終えたところが4エリアである。現地調査を終え、対象となる森林の管理方法を分類している。今後は所有者同意のもと計画を作成し、施策に入っていく。使途については、森林のためになるもの、環境に資するものなど用途の幅が広がってきており、全国的な先行事例も研究しながら進めていきたい。



移住・定住について

倉野 現在は移住「シェルジュ」が1名で活動している、増員の考えはあるのか。

市長 1名何とか確保していきたいと考えている。



行財政改革について

倉野 全員協議会で改革案が示され、5年間で10億円の効果額となっているが、市民にどのように伝えるのか。

総務部長 市のホームページに掲載する。広報紙で概要を示し市民の皆様プランの概要を知ってもらう、その上で吉備国際大学など周辺の地域資源を活用しながら、広報に努めていく。

倉野 行財政改革に取り組む市長の決意を問う。

市長 市民の皆さんに理解をいただながら進めていく。



倉野 嗣雄 議員